

世界から見た 日本のヒューマンライツ

Sanae Fujita
Photography

藤田早苗氏

(英国エセックス大学人権センターフェロー・写真家)

同大学で国際人権法学修士号、法学博士号取得。

名古屋大学大学院国際開発研究科修了。大阪府出身、英国在住。

日本の人権状況向上を切望し、国際社会に日本の人権問題について知らせ、日本に国際人権を伝えるために奔走しているアカデミック・アクティビスト。特定秘密保護法案(2013年)、共謀罪法案(2017年)を英訳して国連に通報し、その危険性を周知。

2016年の国連特別報告者(表現の自由)日本調査実現に尽力。

『武器としての国際人権—日本の貧困、報道、差別』(2022年集英社新書)著者 2023年日隅一雄・情報流通促進奨励賞受賞。

講師



国際社会から日本の人権はどう見えているの？

夏に行われたジャニーズ問題等への国連の調査ってどういう意味があるの？

そもそも、人権ってなに？ 主張することはわがまま？ …そんな疑問、ありませんか？

または、「人権なんて、何か遠い存在で自分にあまり関係ない」と感じていますか？

でも、実はとても具体的で身近なものなのです。

日時

2024年2月3日(土)

13:30-16:00

会場

会場：玉名市民会館会議棟
第3会議室

TEL 0968-73-5107

参加費無料

どなたでも参加できます！



主催：荒尾・市民オンブズマン

協力：市民オンブズマン福岡、くまもと・市民オンブズマン、玉名市民オンブズマン

問合せ：荒尾・市民オンブズマン 松野博雪まで

電話：090-5380-6832 メール：hm-acy09217z@outlook.com